

氏名	西 下 秀 男
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 1 4 号
学位授与の日付	昭和37年 6 月 6 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)
学位論文題目	骨髄組織培養法による各種ホルモンの骨髄巨核球機能に 及ぼす影響に関する研究
論文審査委員	教授 平 木 潔 教授 小 坂 淳 夫 教授 妹尾左知丸

#### 学 位 論 文 内 容 要 旨

著者は各種ホルモンの骨髄巨核球機能に及ぼす影響に関して、簡易骨髄組織培養法を用いて、種々検索した。第 1 編に於て下垂体副腎皮質ホルモン、第 2 編で各種性ホルモン、第 3 編で甲状腺ホルモンにつき検討した。実験方法は海猿に於ては、各種ホルモンの連続注射、及び副腎、性腺、甲状腺の摘出、ラッテに於ては下垂体の摘出を行い、その各々につき大腿骨々髓を組織培養し、培養後 12、18、24 時間に巨核球機能を観察した。更に各種濃度の各種ホルモンのリンゲル溶解液を健康人骨髄組織培養に直接添加し、同様に観察した。その結果、ACTH、コージソン、プレドニゾン、テストステロン、プロゲステロン、サイロキシン及び 卵巣摘出は巨核球機能を亢進せしめ、エストラチオール及び下垂体、副腎、睪丸、甲状腺摘出は巨核球機能を低下せしめるを認めた。著者は更に、第 4 編にて諸種血液疾患患者の骨髄組織培養に ACTH、コージソン、プレドニゾンを添加し、これらの薬剤が病的骨髄の巨核球機能を夫々亢進せしめる事を認めた。

昭和32年 4 月 第19回、昭和33年 4 月 第20回日本血液学会にて発表

原著は昭和34年 4 月 岡山医学会雑誌 第71巻 5 の 1 号に掲載

## 論文審査の結果の要旨

西下秀男提出の「骨髄組織培養法による各種ホルモンの骨髄巨核球機能に及ぼす影響に関する研究」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は次の通りである。

著者は各種ホルモンの骨髄巨核球機能に及ぼす影響に関して、教室考案の簡易骨髄組織培養法を用いて、種々検索している。即ち、第1編に於て下垂体副腎皮質ホルモン、第2編で各種性ホルモン、第3編で甲状腺ホルモンにつき検討している。実験方法は海猿に於ては、各種ホルモンの連続注射、及び副腎、性腺、甲状腺の摘出、ラットに於ては下垂体の摘出を行い、その各々につき大腿骨々髄を組織培養し、培養後12、18、24時間に巨核球機能を観察している。更に各種濃度の各種ホルモンのリンゲル溶解液を健康人骨髄組織培養に直接添加し、同様に観察している。その結果、ACTH、コージソン、プレドニソロン、テストラテロン、プロゲステロン、サイロキシン及び卵巣摘出は巨核球機能を亢進せしめ、エストラチオール及び下垂体、副腎、睪丸、甲状腺摘出は巨核球機能を低下せしめるのを認めている。著者は更に第4編にて諸種血液疾患々者の骨髄組織培養にACTH、コージソン、プレドニソロンを添加し、これらの薬剤が病的骨髄の巨核球機能を夫々亢進せしめる事を認めている。

以上の通り本論文は新しい知見に富み、学術上有益であり、著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を有すると認める。